

SOC350 地域福祉論

3年 1,2クォーター

担当教員 瓦井 昇

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 該当しない

単位数 2

曜日・時限 金曜日・5限

授業概要

地域福祉の理念、歴史、および介護保険等の法制度について学習した上で、地域の要援護者の生活環境を改善するための福祉サービスやそれを担保する資源整備のあり方、福祉ニーズとサービスの調整の考え方等について学習する。さらに、地域福祉の推進に必要となる、自治体や医療法人、社会福祉法人、NPOや住民ボランティア等の地域ネットワークの組織化の現状と課題について理解を深める。

到達目標

学生は、

- (1) 地域福祉は、地域社会にどのようなアプローチをする福祉なのかを理解する。
- (2) 多様な地域福祉の課題を取り上げ、これらにいかなる援助が行われているのかを知る。
- (3) 地域で生活する要援護者の実情をとらえ、生活上の問題点を改善する視点を得る。
- (4) 地域福祉に関連する公私の機関や組織を知り、さらに住民参加の必要性を理解する。

先修科目

特になし。

教科書・参考資料等

毎回、講義レジュメと関連資料を配布する。

授業の方法

通常の講義形式で行う。

成績評価

出席状況と学期末の課題レポートによって評価する。

成績

授業態度と授業参加の積極性 10% 授業への取り組み 10% 学期末レポート 80%

授業スケジュール

- | | |
|---------|-----------------------|
| 第1回 | 社会福祉協議会の役割 |
| 第2回 | 地域の福祉問題と地域福祉の視点 |
| 第3回 | 地域福祉の理念 |
| 第4回 | 地域福祉の内容 |
| 第5回 | 自立生活を支える福祉サービス |
| 第6回 | 福祉サービスの利用と資源整備の課題 |
| 第7回 | 福祉ニーズの把握とサービスの調整 |
| 第8回 | 福祉的な地域社会づくりと生活環境の改善 |
| 第9～10回 | 施設の地域化の実際 |
| 第11回 | 地域福祉の担い手 ― ボランティアとNPO |
| 第12～13回 | 地域福祉推進のための組織化活動 |
| 第14～15回 | まとめと課題レポートの提示 |

事前・事後学習

予習：該当する学習内容について予習する（1時間程度）

復習：配布した講義レジュメを復習し、ファイルして整理すること（1時間程度）